

～「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」をめざして～

★TBS 日曜劇場『御上先生』教育監修の中山芳一先生 & 西岡孝誠先生によるイベントが高崎市のベネッセ関東支社で開催されました!!!★



TBS で毎週日曜よる 9 時に放送されていた日曜劇場『御上先生』が 3/23 (日) に『最終回』を迎えた！もちろん、私は現在『御上先生ロス』の状態である！笑 (教頭 星野 亨)

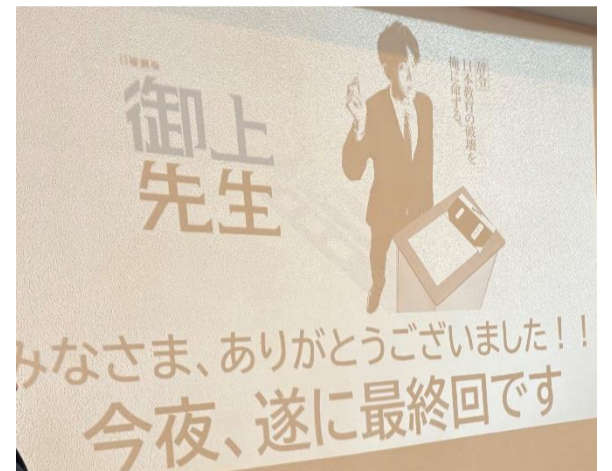
なんと、その日の午前由高崎市のベネッセ関東支社にて、そのドラマの教育監修を務められた中山芳一先生と西岡孝誠先生が『御上先生イベント』を開催して下さったのだ！

発端は、中山先生と私の SNS 上でのやりとり。参加させていただいた東京での御上先生イベントのあとに、関西、中国地方でもこのイベントが開かれていたのだが『群馬でもやってほしい！』とつぶやいたところ、信じられないことに中山先生から『3/23 (日) ならあいてますよ、西岡さんも行けますよ！』とリプライが！そんなことってある???



しかし、私は公務員。参加者からお金を取ることはできません。日曜日に前南を会場にし、職員を勤務させることも困難です。講演料、交通費を支払える財源もない。急なことなので、県教育委員会にお願いしても難しいだろうと予測。そこでベネッセの田邊関東支社長に相談し、すべてベネッセさんで引き取っていただくことに！ここまでの一連の流れを 1 時間かからずに取り付け、開催されることとなりました！中山先生、西岡先生、田邊様に感謝してもしきれません！

ベネッセさんのマネジメントで小学校、中学校、高校からのパネリストも決定し、総参加者は 50 名！なんと群馬県からだけでなく、新潟、栃木、茨城などの先生方も集結！すごい！また、先日、SAH 講演会でお世話になった大森昭生学長も参加され、ものすごいメンツでの激論となりました！告知が直前となり、都合がつかなかった方も大勢いました。部活動を指導されている先生方には難しい日程でした。残念！私の教え子で教師をしている若者も多数参加しました！



<トークテーマ>…ドラマに関係することからトークテーマが設定されました！

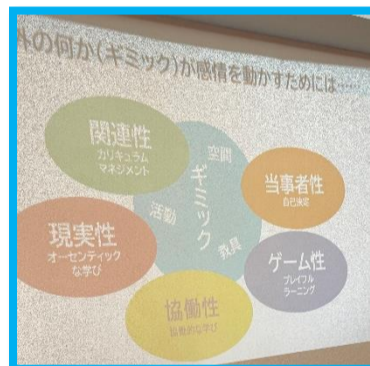
- ①教育監修者に聞いてみたいことがありますか？
- ②『御上先生』から現場を考える！いま、考えたい学校教育問題は？…ドラマで紹介された「教科書検定」「金融教育」「発達障害」「相対的貧困」など
- ③現場は『御上先生』に負けてない！いま、取り組んでいる授業実践は？…ドラマで紹介された「アクティブリコール」「ディベート」「プレゼンテーション」「ピアサポート」「グループ学習」「ゲーム式学習」など
- ④いまの日本教育に、私たちだからこそできる「バタフライエフェクト」は？



西岡孝誠先生のキレイキレイ解説！

中山先生の軽快な MC を軸にドラマのなかから選ばれた上の 4 つのトークテーマについて現場の 7 名の先生方が発表し、西岡先生がまとめるという形式でした！

なかでも『日本ではなぜディベートが定着しないのか？』というテーマでは、中山先生から納得の解説が！日本では『発言＝人格』と判断される傾向にあり、『あなたってそんな人なの？』と思われるため、ドラマ内ではあえて『発言内容』と『人格』を切り離すために『自分の逆の立場でクリティカルシンキングさせ、客観的に判断させる手法にした』そうです！やってみたいですね！また、『認知能力』の獲得のなかで『非認知能力』の獲得を意識することの重要性を解説いただきました！



中山芳一先生の円滑な進行 & 解説！



大森学長も参加されました！

西岡先生からは、このドラマのコンセプトが『大人 VS 大人』と設定されており、『子どもが子ども扱いされないことの重要性』をお話いただきました！私が本校生徒を『同僚』と考えていることに通ずるお話で納得しました！また、東大の入試問題を例に、生徒に『自分事化』させるためのヒントを教えてくださいました！なかでも『授業は待っているものではなく“take a class” 授業はつかんで取るもの！』というコトバをいただきました！まさに本校の『教わる』から『学ぶ』へ！本当に『御上先生=SAH』なんです！共通項だらけなので今からでも見てください！

さいごに最終回のドラマより御上先生の台詞の紹介をさせていただきます！
<御上先生>『答えの出ない質問がこの世にはたくさんある。「考える力」っていうのは、答えを出すためのものじゃない。考えても、考えても答えが出ないことを投げ出さず考え続ける力のことだ。考えよう。』



中山先生 & 西岡先生 & 教員と記念撮影！

★教頭より★ これで私の関わる Journal は最後です。1 年 10 ヶ月で 90 号になりました！これまでお読みいただき、ありがとうございました！『バタフライエフェクト』を起こせるとよいなと思いますが、新年度の前南 SAH に夢を託します！前南を引き続き、よろしく願います！ 教頭 星野 亨

★校長より★ 群馬県が SAH を推進しているタイミングで「御上先生」のようなドラマが放映されること、このドラマをテーマとしたイベントが全国の色々な所で開かれたことを考えると、高校教育の動きを感じることができます。この動きの中で前南の生徒たちは SAH に取り組んでいます。「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」を真のあるものとしていきたいと考えます。

星野教頭先生にはこの 2 年間、前南の、そして群馬県の SAH を大きく推進していただきました。今回のイベントもそうですが、人との繋がりを創り、情報を集め、企画し、素早く動くことにより生徒が主体的に動く学校を創っていただきました。前南の生徒達も敏感に反応してくれました。この動きを体験した生徒から次の社会や学校を創る人が出てきて欲しいと思います。前南は来年度も SAH を推進します。生徒の皆さん頑張りましょう。校長 原 拓史